



ラッカーや油性塗料も上塗りできる

水性 サビドメ

用途 屋内外の鉄部・鉄製品の下塗りに

強力サビドメ剤配合

LATEX
ANTICORROSIVE

速乾タイプ

標準塗り面積(1回塗り)
2.3~2.5㎡
タタミ1.4~1.5枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

上塗り時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上



1/5L

注意書きをよく読んで
から使用して下さい。

商品名 水性サビドメ

品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、防錆剤、水

用途 門扉・シャッター・フェンス・スチール家具・機械器具・農機具など鉄部・鉄製品の下塗り(さび止め)。絶えず水がかかったり水につかる場所や、いつも湿っているところ、車のマフラーなど耐熱性が必要なところ、また床面には適しません。

塗装方法 ①塗る面のゴミ・油分・カビ・サビを取り除き、十分に乾かします。②フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。③塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。夏期など乾燥が速すぎて塗りにくい場合は、さらにうすめて調整します。

取扱い上の注意 ①表示の用途以外に使用しないで下さい。②体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。④塗装中、乾燥中とも換気をよくしその後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。⑨本品は下塗り用塗料ですので、必ず上塗り塗料を塗って下さい。⑩1回目がよく乾いてから2回塗りすると、よりサビ止め効果があります。⑪塗り重ねるとき、および上塗りするときは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑫塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑬容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑭やむをえず塗料を捨てる場合は、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑮容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水が湯で洗って下さい。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの温度が高くなるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。③残った塗料は、しっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

警告



●臓器の障害のおそれ

救急処置 ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300 日本製 01-1601

●この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめに作ってあります。中身の塗料は正確な量目はいっていません。
●表示してある色とツヤ、および容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。

(一社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02011
お申し込み・お問い合わせ
F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.toryo.or.jp
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に有害物質を建築できます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。